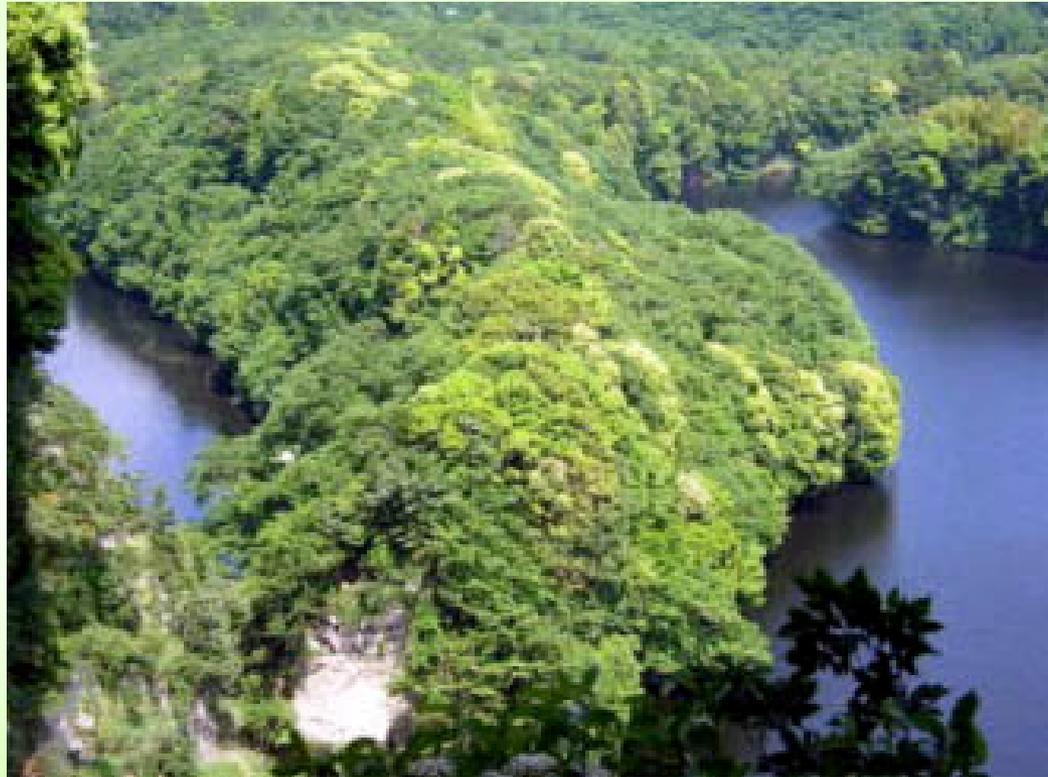


豊英島における森づくり活動

—生物多様性保全を目指して—

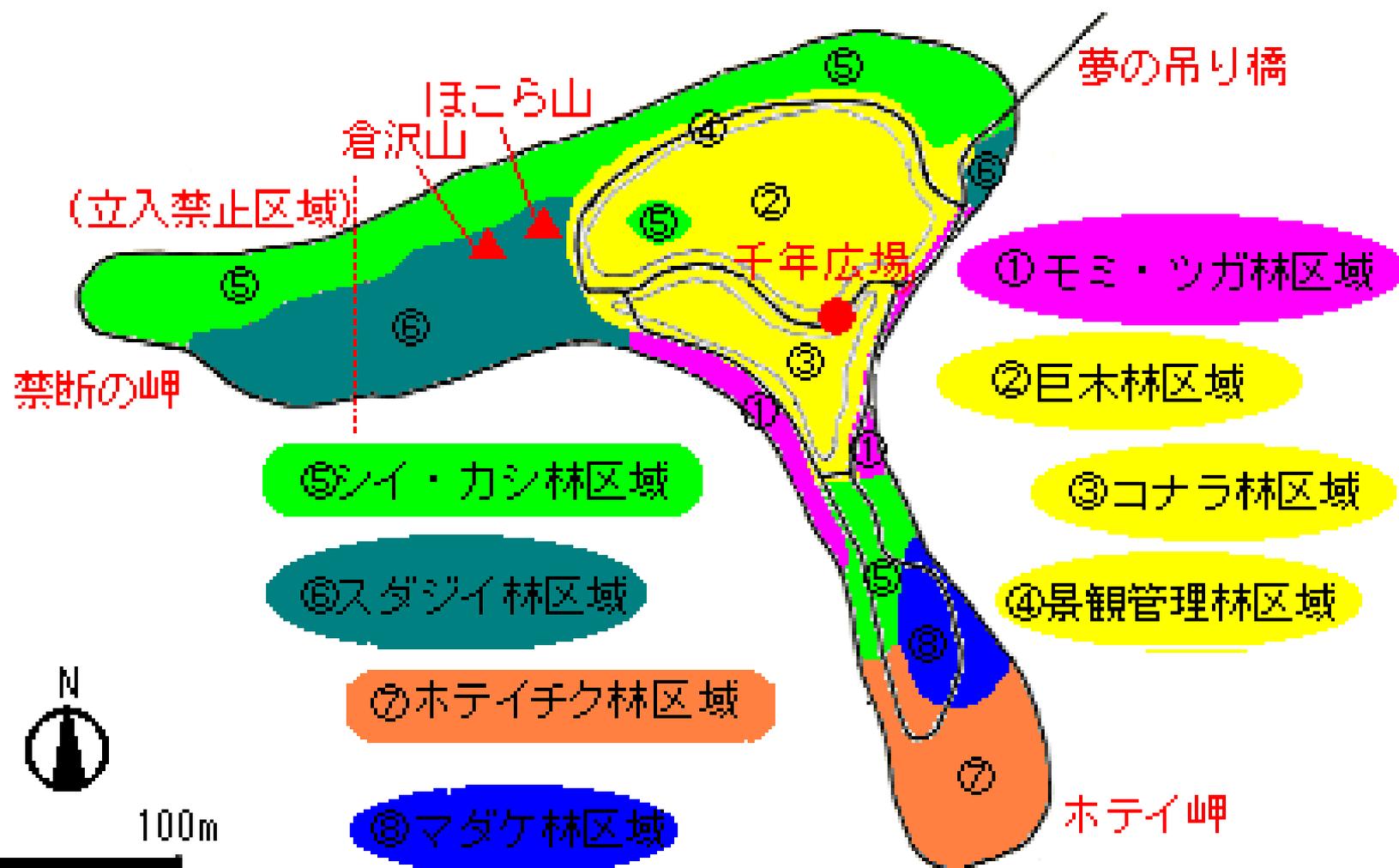


ちば千年の森をつくる会

ちば千年の森をつくる会

- ・フィールド 君津市 豊英島（県有林 6.5ha）
- ・設立 2003年4月（全国植樹祭を契機に）
- ・会員 約45名（県内各地10市町から参加）
- ・基本方針 生物多様性の保全
モデル林の育成
- ・主な活動 目標林型別の森林整備
植生調査と植生の保全
動物調査と食害対策
樹木の生長量調査や光環境調査
キノコ調査やキノコ栽培
森の活動に必要な研修など

目標林型と管理目標





巨木林



景観管理林



コナラ林



モミ・ツガ林

植物調査

2010年12月末現在

区 分	02年調査	第二次調査	第三次調査	累 計
針葉樹	8 (3)	9 (3)	11 (4)	11 (4)
常緑広葉樹	27 (3)	27 (2)	32 (3)	33 (4)
落葉広葉樹	79 (12)	77 (12)	81 (11)	95 (15)
タケ・ササ類	4	5	4	5
つる植物	31 (3)	33 (3)	34 (2)	39 (3)
草 本	69 (16)	67 (16)	71 (27)	108 (27)
シダ類	27 (0)	8 (1)	10 (0)	31 (1)
合 計	245 (37)	226 (37)	243 (34)	322 (54)

() は千葉県レッドリストA.B.C.D該当種

豊富な植生



ヒカゲツツジ



クロムヨウラン



ヒナスミレ



スハマソウ



ウメガサソウ



ミツバツツジ



ツチアケビ



エビネ

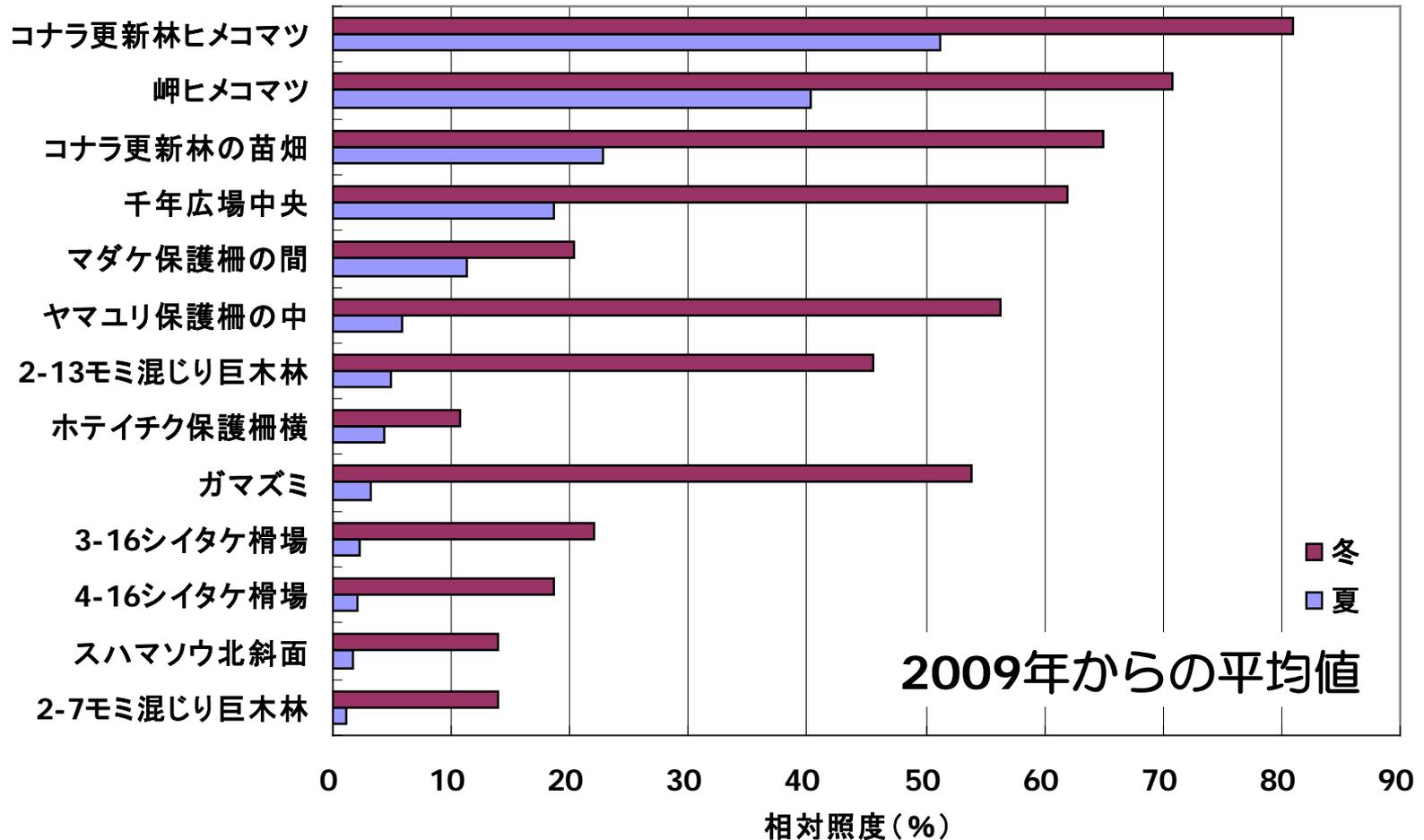


カンアオイ



ヒメフタバラン

光環境（相対照度）調査結果



夏の相対照度：コナラ林の林内は 6%以下
スハマソウ北斜面は 2%以下と暗い

動物たち



テン (上:夏、下:冬)

食害と保護作業



タケノコを食べるシカ



食べられたタケノコ



葉を食べられたアオキ



植生保護柵の設置



角研ぎ防止金網設置

動物調査・食害対策

-ニホンジカとの共生を目指す森づくり-

目的 豊英島に棲息又は往来するニホンジカ、ニホンザル、ノウサギなどの生態や密度、植物の食害状況を観察・調査し、必要な植物保護対策を実施する。

実施内容 センサーカメラによる調査、島内一斉踏査による調査
植物の食害調査、植生保護柵内外の林床植物調査、
希少植物保護

ニホンジカ生息密度：0～4頭/6ha → 0～67頭/km²

食害状況 激害：アオキ、イヌツゲ、イヌガヤ、マダケタケノコなど
角研ぎの被害：モミ、ツガ、ネズ、などの小径木
稀少種の被害：キンラン、シュンラン、ツチアケビなど

食害対策 マダケ林保護柵2箇所、ホテイチク林保護柵1箇所
巨木林植生保護柵4箇所（10m方形区×2、20m方形×2）
ヤマユリ保護柵1箇所、アズマネザサ保護柵1箇所
クロムヨウラン、ツチアケビ、キンラン保護ネット

きのこの宝庫



アカヤマドリ



バカマツタケ



ホウキタケの仲間



コウタケ



タマゴタケ



きのこ観察会



サクラシメジ

チェーンソー安全研修



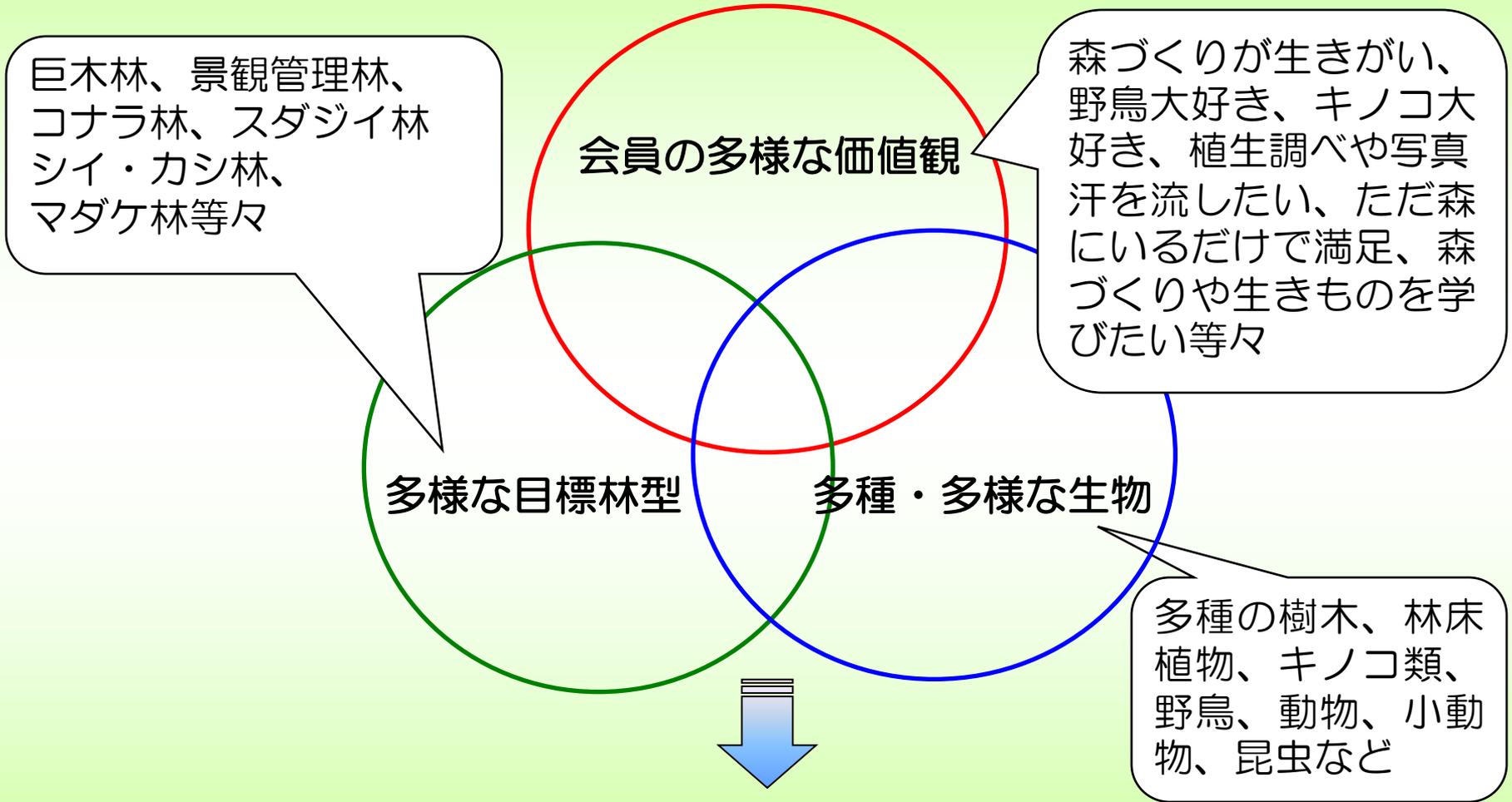
キノコ原木栽培



トビの巣立ち観察



千年の森づくり



会員の多様な生きがい

今後の課題

- 調査手法等のレベルアップ
- 情報発信の活性化
- 地域との連携



ご静聴ありがとうございました